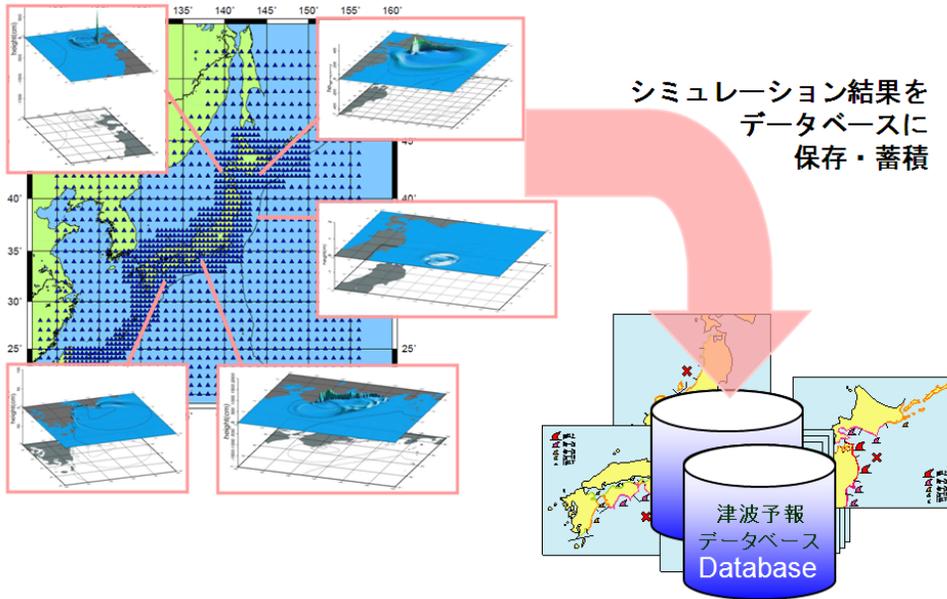


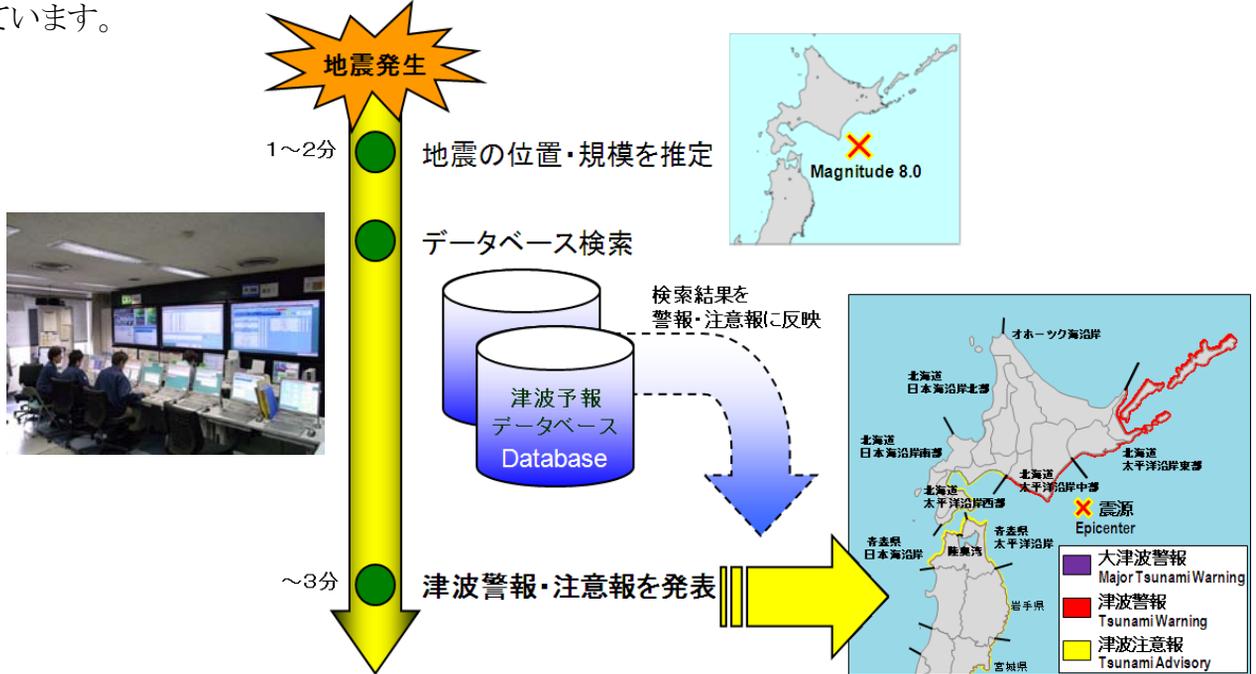
# 津波予測の技術 ～津波予報データベースによる津波警報～

津波からの避難のために、津波警報はできるだけ迅速に発表する必要があります。地震が発生してからコンピューターで津波の数値シミュレーションを行うのでは、津波警報の発表に時間がかかるため、あらかじめ、津波を発生させる可能性のある断層を設定して津波の数値シミュレーションを行い、その結果を津波予報データベースとして蓄積しておきます。

## 津波の数値シミュレーションを多数実施



実際に地震が発生した時は、このデータベースから、発生した地震の位置や規模などに対応する予測結果を即座に検索することで、沿岸に対する津波警報・注意報の迅速な発表(地震後概ね3分程度)を実現しています。



一方、津波警報第一報発表までの時間内に正確な地震の規模を決めることが困難な巨大地震に対しては、津波の予測の過小評価を避けるため、警報発表段階で得られている情報から巨大地震かどうかの判定を行い、巨大地震の場合には、最大規模の地震を想定し、それにもとづき津波の高さを「巨大」などの表現であらわして警報を発表することで対処を行いました。

また、近年整備が進んでいる沖合の津波観測網のデータを活用し、沿岸に到着する前の津波の観測値を活用して、津波の予測精度を向上させる技術開発も進めています。